

# - 1 小学校国語

## - 1 小学校国語

- ( 1 ) 成果と課題
- ( 2 ) 改善が見られた問題
- ( 3 ) 新たに成果が見られた問題
- ( 4 ) 引き続き課題である問題
- ( 5 ) 新たに課題が見られた問題
- ( 6 ) 質問紙調査
- ( 7 ) 今後の取組

# - 1 ( 1 ) 成果と課題

## 成 果

## 小学校国語

## 課 題

### 改善が見られた内容

文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすること

関連問題 A1

物語の登場人物の気持ちを想像しながら音読するときの工夫の仕方とその理由を書くこと

関連問題 B3二

### 引き続き課題である内容

筆者が、自分の考えを根拠付けるために引用している言葉を探すこと

関連問題 A5二

文章と図表内の情報を関係付けて、自分の考えを書くこと

関連問題 B2三

### 新たに成果が見られた内容

文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること

関連問題 A2二

作品募集案内の中から、必要な情報を読み取ること

関連問題 A7

### 新たに課題が見られた内容

話の内容に対する聞き方を工夫すること

関連問題 A3

取材相手の考えの「理由」と「表情や声の調子」の両方を整理して、記事を書くこと

関連問題 B1三

# - 1 ( 2 ) 改善が見られた問題

## 小学校国語

### 改善された課題

B3二(本県67.8%, 全国66.6%, +1.2)

【話し合いの様子】  
山田 一休さんが家来たちに、「とらを追い出してください。出て来ないといばれませんからね。」と言ったところがおもしろいね。  
小川 私もそう思うわ。とのさまが言った無理なことに対して、一休さんがちえを働かせているところよね。とのさまはおこつて言い返したけれど、一休さんに「それはおかしい。」と言われて、「ううむ。」とうなつてしまっね。  
高木 最後に、とのさまは、「もうよい。わしの負けじゃ。」と言ったけれど、どんな気持ちだったのかな。どんなふう読むといいかな。いろいろな読み方を考えてみよう。  
【問い】「もうよい。わしの負けじゃ。」を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましよう。  
条件 声に出して読むときにくふうすることを書くこと。くふうすることとしては、例えば、声の大きさや高さ、読む速さなどがある。なぜそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、あなたが想像したとのさまの気持ちを取り上げること。

物語の登場人物の気持ちを想像しながら音読するときの工夫の仕方とその理由を書くこと

### 今後更に力を伸ばすために

#### 本設問を活かした学習指導例

「昔話の大好きな場面を音読して紹介しよう」

- ・ 教師の様々な音読の仕方を聞き比べ、読み手の感じ方の違いで読み方が変わることに気付く。
- ・ 工夫の観点を具体的に示す。(声の大きさや質、読む速さ、間の取り方など)
- ・ 繰り返し音読しながら、自分の感じ方に合わせて音読の工夫を考える。工夫の理由は、知識や経験と結び付けて考える。
- ・ 児童同士で読み合い聞き比べながら、互いに助言をし合い、自分の音読に生かす。
- ・ 自分で選んだ昔話について、音読の工夫を考える。

### 熊本県学力調査における関連問題

平成26年度県学力調査の小5問題3で、小泉八雲の伝記を読んで、人柄や考え方について感じたことを書く問題を出題しています。

# - 1 ( 3 ) 新たに成果が見られた問題

## 小学校国語

### 問題の趣旨

A2二(本県74.2%, 全国71.7%, +2.5)

- 二 1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型に当てはまりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。
- 【文の型】
- ア 「何は(が)」「何だ」
  - イ 「何は(が)」「どうした」
  - ウ 「何は(が)」「どんなだ」
- 1 私は、国語の学習で感想文を書いた。
  - 2 頂上から見える景色は、すばらしい。
  - 3 日本で一番高い山は、富士山だ。

文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること

### 今後更に力を伸ばすために

#### 本設問を活かした学習指導例

##### 第1・2学年

「はした。」「かいた。」など、述語だけの文を示し、主語を補って文を作らせる。

##### 第3・4学年

主語と述語が整った複数の例文を示し、「ものの名前を表す(何だ)」「動きを表す(どうした)」「様子を表す(どんなだ・～い)」の3つに分類させる。

##### 第5・6学年

文を「構造」( )や「性質、機能」( )で分類させる。

単文、重文、複文

平叙文、呼び掛け、疑問文、応答文、命令や承諾を表す文、推定や伝聞を表す文、感動を表す文等

### 熊本県学力調査における関連問題

平成26年度県学力調査の小3問題2(5)で、文中から「主語」と「述語」を書き抜く問題を出題しています。

# - 1 (4) 引き続き課題である問題

## 小学校国語

### 課題


筆者が、自分の考えを根拠付けるために引用している言葉を探すこと

- 【誤答例】
- ・「子ども読書」、「世界本の日」、「セロ弾きの」と解答している。(25.4%)
  - ・設問の「自分の思いや考えを根拠付ける」を、筆者の思いや考えを述べている言葉と誤って捉えている。(47.7%)

### 課題となった問題

A5二(本県18.1%, 全国19.8%, -1.7)

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を用いています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点、読点、かぎは字数にふくみません。



1 ▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の<sup>※1</sup>見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、<sup>※2</sup>かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

5 次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】です。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

### 指導のポイント

誤答について  
引用の際は「 」で括ることや、引用というのは本や文章の一節や文、語句などを引いてくることへの理解に課題がある。

「根拠」についての理解に課題がある。

指導について

- ・ 「 」で括るといった引用の仕方と、引用したことについて自分の考えを書かせる指導を行う。その際、「自分の考えの補説」「説得力を高める」など、目的意識が重要である。
- ・ 引用については、児童が引用する目的や必要性を十分にもてる言語活動を位置付け、課題解決の過程において指導することが必要である。
- ・ 引用の対象には、図表やグラフ、絵や写真も含まれること、出典を明示することも指導する。



## 小学校国語

### 課題

### 課題となった問題

B1三(本県30.6%, 全国34.7%, -4.1)

あやとりのコーナーに参加し  
てよかったわ。  
それはね、一年生のみんなに  
様々な形を教えてあげたら喜ん  
でくれたからなの。  
みなさんも準備が大変だった  
ことでしょうね。町で会ったと  
きにはいつでも声をかけてくだ  
さい。今後の案内も楽しみにし  
て待っていますね。

【中田とよさんへのインタビューの様子】  
話した内容  
三 【ふれあい新聞(六月号)】の(ア)の中には、あやとりの  
コーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしまし  
た。次の【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をま  
とめて書きます。あとの条件に合わせて書きましよう。



中田とよさん

(表情や声の調子)

・目を細めている  
・明るい声

条件

ぼう線部についての理由が分かる言葉を、話した内容  
の中から、「」を使って取り出し、その言葉と 表情や  
声の調子 の中の内容を合わせて、一文で書くこと。  
書き出しに続けて、四十字以上、七十文字以内で書くこと。  
なお、書き出しの言葉は字数に含む。

取材相手の考えの「理由」と「表情や声の調子」の両方を整理して、記事を書くこと

- 【誤答例】
- ・ 話した内容 の中から、「」を使って理由の部分を取り出していない。
  - ・ 表情や声の調子 の中の内容に合わせて書いていない。(いずれかを満たしていない, 53.9%)

### 指導のポイント

誤答について

指示語「それは」に着目し、傍線部を指し示していることや、文末の「～から」に着目し理由を表す文であることへの理解に課題がある。また、取材した内容を関係付けて書くことに課題がある。

指導について

- ・ キーワード、接続語、指示語、文末に線を引ながら読む。
- ・ インタビューの際は、相手が繰り返し話している内容や相手の印象的な様子をメモする。具体的に振り返るために、写真、録音機器等も活用する。
- ・ 取材した内容を整理して書く際は、事実、感想、意見を区別するとともに、目的や意図を確認し、読み手に伝えたいことの内容を明確にする。これを基に内容を取捨選択するとともに、読み手に伝わるように、具体的な事実を書き加える。

## 児童質問紙から

多くの児童が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均より低い傾向にあります。

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

- 本県78.8%、全国77.7%、差 + 1.1

(昨年度から更に向上)

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。

「当てはまる」

- 本県18.9%、全国21.4%、差 - 2.5

(昨年度より拡大)

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

「当てはまる」

- 本県29.3%、全国32.1%、差 - 2.8

(昨年度より拡大)

## 学校質問紙から

補充的な学習指導の実施状況は、高い傾向にあります。目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業の実施状況も改善の傾向にあります。基礎的・基本的な事項を定着させる授業は依然として課題です。

国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

「よく行った」

- 本県23.2%、全国16.2%、差 + 7.0

(昨年度から更に向上)

国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県22.9%、全国22.1%、差 + 0.8

(昨年度から改善)

国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県50.6%、全国53.2%、差 - 2.6

(昨年度より縮小)

# - 1 ( 7 ) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった国語科の課題改善のため  
次の点に取り組みましょう。

## これまでの継続的な課題

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること  
目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと

## 新たに明らかになった課題

話の内容に対する聞き方を工夫すること  
文章と図を関係付けて、自分の考えを書くこと

取組

## 授業の中で

課題解決の方法や展開をイメージした板書をする  
こと  
振り返りやまとめは、めあてと照らして行うこと  
自分の考えを表現する際は、目的や条件に応じ  
て、考えを支える根拠と理由も書かせること  
単元終了後に、練習問題に取り組むこと

## 日々の取組の中で

授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その  
取組を確認すること  
語彙を豊かにするために、辞書で調べる習慣を  
身に付けさせること  
読書量を増やすために、朝読書や全校一斉読  
書等の読書活動を推進すること